後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	3	誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり	担当部	町民生活部
基本施策	3	地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策名称	1	人権の尊重と男女共同参画社会の推進		
施策の方向性		●社会全体で差別や偏見をなくすために、人権意識の普及・啓発を行い、住民一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりを推進します。 ●男女が互いの人権を尊重し対等なパートナーとして協力し合い、家庭・地域・職場など社会のあらゆる分野で男女がともに自分の意思で参画し、ともに育ち、支え、伝え合える場所をつくることで、男女共同参画社会の実現ができるよう普及・啓発を推進します。		

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	普及啓発活動参加者数	人	目標値		4,300	4,350	4,400	4,450	4,500
			実績値	4,218	3,886	4,420	5,442	5,985	6,438
			達成状況		未達成	達成	達成	達成	達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	新型コロナウイルス感染症の影響により、夏の人権の花運動が児童代表だけの参加となったことや、保育所・認定こども園・幼稚園を対象とした人権紙芝居が中止となった園もあったことから、目標は未達成となっています。内容については、事業のマンネリ化の打開策として、ヒューマンフェスタをスマイル21との合同開催とするなど、新たな取組みを行いました。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策で啓発活動が制限される中、工夫を凝らしながら事業を中止することなく行い、目標を達成しました。内容については、新たに、人権啓発冊子のリニューアルや、性的マイノリティへの理解促進の取組みを行いました。
R5	主な増加原因は、ヒューマンフェスタの参加者が200名増えたことと、人権の花運動において、安芸府中高校では、通年は生徒会の生徒数名に渡していましたが、令和5年度は学校行事に合わせて実施したため、参加者数が500人強増加したこと、小学校のあいさつ運動の参加者が80人増えたこと、職員のビデオ研修で参加者の制限を行わなかったため、90人増えたこと等によるものです。
R6	ヒューマンフェスタをイオンモール広島府中において開催し、参加者数が大幅に増加したこと及び映画上映会に多くの来場者があったことが主な増員の要因と考えます。引き続き、効果的な啓発事業を推進できるように取り組みます。
R7	引き続き、ヒューマンフェスタをスマイル21と合同でイオンモール広島府中で開催し、参加者数が増加しました。拉致問題啓発映画上映会や人権啓発に関するパネル展示等、新たな事業に取り組みました。

・評価及び対応方針

R3	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の開催が難しい中、オンラインでの開催や動画配信など、様々な工夫をして啓発活動を行いました。今年度以降も、さらに工夫・改善しながら人権の尊重と男女共同参画社会の推進に取り組みます。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、様々な工夫をして啓発活動を行いました。今年度以降も、さらに工夫・改善しながら人権の尊重と男女共同参画社会の推進に取り組みます。
R5	令和5年度は、学校行事と合わせて実施することで、参加者数を増やすことができたので、今後も参加人数を増やすとともに、事業内容については、毎年同じことを繰り返しているので、内容の充実を図っていくことが必要です。
R6	ヒューマンフェスタをイオンモール広島府中で開催できたことは、幅広い啓発活動の推進につながり、評価できます。引き続き、効果的な啓発事業を推進していけるように取り組んでいきます。
R7	ヒューマンフェスタをスマイル21と合同で開催し、引き続きイオンモール広島府中で行ったことで啓発活動の参加者が増加し、幅広い啓発活動が行えたことは評価できます。新たな啓発活動等への取組を引き続き進めていきます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位：千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	人権推進事業	4,062	4,321	4,434	2,472	2,607	17,896
2	男女共同参画推進事業	2,875	195	137	432	2,253	5,892
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		6,937	4,516	4,571	2,904	4,860	23,788

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	人権推進事業	事業番号	331101
担当部署名	町民生活部　　自治振興課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタを開催し、スマイル21との共同開催や講座のオンライン配信など、各種啓発活動を展開しました。（11月28日／来場者255人、動画視聴者348人） ○ 保育所・認定こども園・幼稚園を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（9回・755人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回・100人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施）
R4	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタをスマイル21と共同で開催し、各種啓発活動を展開しました。（11月27日／来場者400人） ○ 保育所・認定こども園・幼稚園を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（12回・1,215人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子をリニューアルして作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回・93人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施）
R5	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタをスマイル21と共同で開催し、様々な啓発活動を展開しました。（11月26日/来場者605人） ○ 町内の保育所・認定こども園・幼稚園を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（12園で実施。1,198人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配布しました。 ○ 民生委員児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回実施。74人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏　1064人、秋　497人）
R6	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタをスマイル21と共同で開催し、各種啓発活動を展開しました。（12月1日／来場者1,600人） ○ 保育所・認定こども園・幼稚園を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（13回・1,120人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（年3回・93人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施） ○ 人権啓発活動を推進するため、役場ロビー展を開催しました。（年5回）
R7	○ 住民等を対象にヒューマンフェスタをスマイル21と合同で開催し、各種啓発活動を展開しました。（11月22日／来場者2,200人） ○ 保育所・認定こども園・幼稚園を対象に、人権啓発紙芝居を実施しました。（13回・1,075人） ○ 人権意識の普及・高揚を図るため、人権啓発冊子を作成し、全世帯に配付しました。 ○ 民生委員児童委員を対象に、人権ビデオ学習会を実施しました。（3回・85人） ○ 児童・生徒等を対象に、人権の花の贈呈等を実施しました。（夏・秋実施） ○ 人権啓発活動を推進するため、役場ロビー展を開催しました。（3回） ○ 拉致問題啓発映画上映会及びパネル展を開催しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	41	41	41	41	41
			実績値	38	41	41	47	46
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	人権意識を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。							

４．コスト情報(決算)

（単位:千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	4,062	0	72	0	0	3,990
R4	4,321	0	73	0	0	4,248
R5	4,434	0	74	0	0	4,360
R6	2,472	0	286	0	174	2,012
R7	2,607	0	341	0	195	2,071
合計	17,896	0	846	0	369	16,681

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、保育所・認定こども園・幼稚園を対象とした人権紙芝居について中止となった園があったため、目標未達成となっています。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、事業を中止することなく実施し、目標を達成しました。
R5	啓発活動については、令和4年度と同様の啓発を行ったことで、啓発活動回数については目標を達成できました。
R6	令和6年度から、役場ATM跡地を活用したロビー展を啓発週間ごとに新たに開催し、啓発活動に努めたため、目標回数を大きく上回りました。
R7	各種啓発週間等に合わせたロビー展を継続して実施し、新たに拉致問題啓発映画上映会を実施する等の啓発活動に努め、目標回数を達成しました。

・評価及び対応方針

R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、啓発活動が制限される中、ヒューマンフェスタや研修会での動画配信など、工夫を凝らしながら啓発活動を行いました。また、課題としていた事業のマンネリ化については、ヒューマンフェスタをスマイル21との合同開催とするなど、新たな形に取り組みました。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策で啓発活動が制限される中、工夫を凝らしながら事業を中止することなく行いました。また、課題としていた事業のマンネリ化については、ヒューマンフェスタを令和3年度に引き続きスマイル21との合同開催とし、人権紙芝居の舞台発表、参加型コンサートなど、集客数増に取り組んだほか、人権啓発冊子のリニューアルにも取り組みました。
R5	事業ごとに参加者数の増減はありますが、各事業ともおおむね目標通り事業を実施できました。さらに啓発活動を活発化していきます。
R6	令和6年度から、役場ATM跡地を活用したロビー展を啓発週間ごとに新たに開催し、啓発活動に努めたため、目標回数を大きく上回ったことは評価できます。引き続き、工夫をしながら啓発活動に努めます。
R7	各種啓発週間等に合わせたロビー展の実施や拉致問題啓発映画上映会等を実施して啓発活動に努め、事業目標を達成したことは評価できますが、昨年度よりも啓発活動実施回数が減少したため、今後は、計画的な啓発活動の実施に努めます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、目標は達成できませんでした。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、事業を中止することなく実施し、目標を達成しました。
R5	啓発事業の回数は目標を達成できました。今後は、啓発内容も充実を図っていく必要があります。
R6	啓発活動の回数は目標を達成できました。今後も、工夫しながら、内容の充実も図っていく必要があります。
R7	啓発活動の回数は目標を達成しましたが、昨年度よりも減少しているため、計画的な啓発活動の実施が必要です。

・評価及び対応方針

R3	未達成であったものの、制限のある中で工夫をして実施し、一定の効果があったと思われます。今後も啓発の方法や時期など、より効果的な啓発活動の実施方法を検討し、継続して取り組みます。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、制限のある中で工夫をして実施し、目標を達成することができ、効果があったと思われます。今後も啓発の方法や時期など、より効果的な啓発活動の実施方法を検討し、継続して取り組みます。
R5	啓発事業をさらに活発に実施できるように、回数及び参加者数の増加に加えて、事業内容にも工夫をしていきます。
R6	新しい展示スペースを活用しながら、啓発活動を展開したことは評価できます。引き続き、工夫しながら、啓発活動の内容の充実も図っていきます。
R7	展示スペースを活用した啓発活動を継続し、新たに拉致問題の啓発に取り組んだことは評価できます。啓発活動の内容の充実を図りながら、今後も計画的に実施していくことが必要です。

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略	

事務事業の名称	男女共同参画推進事業	事業番号	331102
担当部署名	町民生活部　　自治振興課		
政策体系			
基本目標	3 誰もが安心・安全、快適に暮らせるまちづくり		
基本施策	3 地域協働・産業活性化・安心安全のまちづくり		
単位施策	1 人権の尊重と男女共同参画社会の推進		

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催しました。（オンライン開催：8月2日～9月30日／22人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（9月・2月／449人） ○ 町民アンケートにより現状調査を行った上、懇話会委員の意見を聞きながら、第4次男女共同参画プランを策定しました。 ○ パートナーシップ制度を導入し、県内実施4市町と協定を締結しました。
R4	○ 住民等を対象に男女共同参画映画上映会を開催しました。（8月7日／302人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（10月・2月／469人） ○ 第4次男女共同参画プランの子ども版を作成し、町内小学校（6年生）・中学校に配布しました。 ○ パートナーシップ制度について、県内で新たに制度を開始した3市町と協定を締結しました。 ○ 性的マイノリティの人への理解を促進するため、職員向けマニュアルを作成しました。 ○ 性的マイノリティへ配慮するため、町で扱う申請書様式などの性別記載欄について、見直しを実施しました。（性別記載欄の削除件数／91件）
R5	○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催しました。（7月29日開催。参加者17人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（8月・2月に開催。参加者数545人） ○ 性の多様性に関する講演会（中学生と教職員を対象に実施）（8月30日・11月16日　２回開催。参加者　838人）
R6	○ 住民等を対象に男女共同参画映画上映会を開催しました。（2月8日／617人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（7月・1月／562人） ○ ジェンダーの視点から見た表現のガイドラインを作成し、ホームページにアップしました。 ○ パートナーシップ制度について、広く普及するため、新たにチラシを作成しました。
R7	○ 住民等を対象に男女共同参画講演会を開催しました。（6月21日／100人） ○ 町職員を対象に男女共同参画ビデオ学習会を実施しました。（6月・1月／602人） ○ 府中町第5次男女共同参画プラン策定（令和8年度）に向けて、意識調査（アンケート調査）を実施しました。 ヒューマンフェスタでの講演や人権啓発冊子において、自分らしく活躍する人を紹介しました。また、「表現のガイドライン」の活用を職員に再通知しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	啓発活動実施回数	回	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	3	3	5	3	3
			達成状況	達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	男女共同参画の意識啓発を高めることを目的としているため、啓発活動実施回数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	2,875	0	0	0	0	2,875
R4	195	0	0	0	0	195
R5	137	0	0	0	0	137
R6	432	0	0	0	0	432
R7	2,253	0	0	0	0	2,253
合計	5,892	0	0	0	0	5,892

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、啓発活動をオンラインにより開催し、目標を達成しました。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、事業を中止することなく実施し、目標を達成しました。
R5	毎年事業目標を達成できていますが、令和5年度は、性の多様性に関する講演会を中学生を対象に実施できたことは評価できます。
R6	事業回数は目標を達成できました。目標以外にジェンダーの視点から見た「表現のガイドライン」を作成し、職員等に周知しました。また、パートナーシップ宣誓制度の普及啓発のため、新たにチラシを作成しました。
R7	従来の啓発活動に加え、ヒューマンフェスタや人権啓発冊子での啓発を行うことができました。 また、第5次男女共同参画プラン策定のための意識調査（アンケート調査）について、府中町男女共同参画推進委員会の意見を受けて設問を検討し、町民、中学生、事業者を対象として実施しました。 職員に「表現のガイドライン」の活用について通知し、取組を継続するよう促しました。

・評価及び対応方針

R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、例年どおりの開催が難しい中で、オンライン開催や動画配信など、工夫して実施することができました。
R4	男女共同参画事業として初めての映画上映会では、300人の参加がありー定の成果をあげることができました。また、パートナーシップ宣誓制度からはじまった性的マイノリティへの取組みについては、マニュアルの作成など、更に進めることができました。
R5	今後もさらに啓発活動を進めるとともに、町内の事業所等への働きかけなども進めていきます。
R6	事業回数は目標を達成できたことに加えて、目標以外にジェンダーの視点から見た「表現のガイドライン」を作成し、職員等に周知を図り、パートナーシップ宣誓制度のチラシを新たに作成するなど、普及啓発活動に努めました。
R7	事業目標を達成し、ヒューマンフェスタでの講演や人権啓発冊子においても、活躍する女性や自分らしく活躍する人を紹介したことは評価できます。 また、職員に対する意識啓発を継続するために「表現のガイドライン」の活用を再通知するなど継続した取り組みもできました。 今後も意識啓発のため、工夫した取り組みを継続していきます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）	
R3	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、啓発活動をオンラインにより開催し、目標を達成しました。オンラインでの実施は参加者が少なかったので、どう増やしていくかが課題です。
R4	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に気を付けながら、事業を中止することなく実施し、目標を達成しました。
R5	毎年達成している事業だけでなく、新しい事業の実施ができたことは評価できます。引き続き、新しい啓発事業についても継続できるように進めていきます。
R6	目標を達成したうえで、「表現のガイドライン」の作成、パートナーシップ宣誓制度のチラシの作成など、普及啓発活動に努めました。引き続き、新しい啓発活動も進めていきます。
R7	計画していた啓発活動を実施し、目標を達成しました。また、新たな啓発や職員に対する継続した意識啓発を行うこともできました。

・評価及び対応方針

R3	今後も、新型コロナウイルス感染症の対応など工夫を凝らしながら、効果的な啓発を実施し、町民の男女共同参画意識を高め、男女共同参画社会の実現を目指していきます。
R4	今後も工夫を凝らしながら、効果的な啓発を実施し、町民の男女共同参画意識を高め、男女共同参画社会の実現を目指していきます。
R5	毎年事業目標は達成していますが、男女共同参画プランの未達成事業についても実施に向けて事業を進めていきます。
R6	目標を達成したうえで、「表現のガイドライン」の作成、パートナーシップ宣誓制度のチラシの作成など、普及啓発活動に努めたことは評価できます。第5次男女共同参画プラン作成に向け、新しい課題の抽出にも取り組んでいきます。
R7	目標を達成し、新たな啓発や継続した意識啓発を行ったことは評価できます。今後は、意識調査（アンケート）により把握した新たな課題を第5次府中町男女共同参画プランに位置づけ、取り組んでいく必要があります。